

令和5年度事業計画書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

当財団は、令和2年度から令和6年度まで、彩の国さいたま芸術劇場及び埼玉会館の管理運営に係る指定管理者の指定を受け、優れた舞台芸術作品の提供や、県民の芸術文化活動の支援に関する取組及び、地域の核としての賑わいを創出する事業を実施し、財団の目指すべき方向性として定めたミッション・ビジョンの実現に向け取り組んでいる。

【ミッション】

「Art for Life - すべての人生に芸術を - 」

【ビジョン】

「アートでつなぐ - 人・地域・世界 - 」

- (1) 世界に通用する舞台芸術を創造・提供する
- (2) 県民に対し満足度の高い芸術文化活動の実践の場を提供する
- (3) 社会や地域の課題に対し芸術文化活動を通じてその解決に貢献する

令和5年度は、彩の国さいたま芸術劇場は大規模改修工事に伴い休館中であるため、埼玉会館を主な会場として自主企画公演を実施していく。また、近藤良平芸術監督が県内各地を訪れ、地域文化の魅力を探索し、地元の人々に新たな価値を提案するとともに、一緒に制作活動に取り組む「埼玉回遊」を実施する。

さらに、年齢やジャンル、障がいの有無にこだわらない、多様な世代・属性による芸術表現活動グループの設立準備のため、県内各地でワークショップを実施するなど、近藤良平芸術監督が目指す、多様な芸術や人々・地域等が交わり合う「クロッシング」を表現・発信していく。

こうした事業も含め、下記の事業展開戦略に基づく幅広い事業を、これまで培ってきた実績と経験を最大限に活用しながら実施していくことで、県内における芸術文化の一層の振興と、真に豊かさゆとりを実感できる県民生活の実現を図っていく。

《事業展開戦略》

- (1) 世界に通じる演劇・舞踊・音楽とその融合・発展
- (2) 質の高い貸館支援と利用者層の拡大
- (3) 社会課題の解決に貢献する芸術活動の推進
- (4) 芸術実践・鑑賞層の拡大

1 舞台芸術作品の提供等に関する事業

(1) 自主企画公演等及び国内外との交流（39事業）

当財団の事業展開戦略を踏まえ、次の自主企画公演等を実施する。

ア 世界に通じる演劇・舞踊・音楽とその融合・発展（5事業）

- ・国内外からの埼玉県のアート文化への評価を高めるため、芸術性の高い舞台芸術作品の上演や演奏会を行う。一部の公演では関連企画として、作品への理解を深めるためのワークショップや解説レクチャーを実施する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
音楽 NHK交響楽団 梅田俊明（指揮）・ 戸澤采紀（ヴァイオリン）	11月	埼玉会館 大ホール	日本を代表するオーケストラ、NHK交響楽団による演奏会。指揮者はN響とたびたび共演、幅広い音楽性と的確な棒さばきでメンバーからの信頼も厚い梅田俊明、ソリストは若手ヴァイオリニストとして近年目覚ましい活躍をみせる戸澤采紀を迎える。
音楽 バッハ・コレギウム ・ジャパン ヘンデル《メサイア》	12月	埼玉会館 大ホール	国際的に高い評価を集める古楽演奏団体、バッハ・コレギウム・ジャパンによる公演を実施。曲目は、ヨーロッパのクリスマス時期の風物詩、ヘンデル《メサイア》を採り上げる。教育的プログラムとして、公演に先駆けて関連レクチャーも開催する。
舞踊 バットシェバ舞踊団 新作又は『HORA』	1月	埼玉会館 大ホール	世界のダンス・シーンをリードする振付家オハッド・ナハリンとイスラエルのカンパニー バットシェバ舞踊団。オハッド・ナハリン振付の新作（2022年冬初演）又は2022年1月に予定されていたが新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった『HORA』を上演する。埼玉を含め国内3都市でツアーの予定。

事業名	実施予定時期	会場	内容
演劇 ノゾエ征爾演出作品	2・3月	東京芸術 劇場・ 芸術劇場 小ホール	劇作家・演出家のノゾエ征爾が主宰する劇団「はえぎわ」と彩の国さいたま芸術劇場の共同制作公演として、シェイクスピアの『マクベス』を原作とした作品をノゾエの潤色・演出で創作し、東京芸術劇場シアターイースト及び当劇場で上演する。
音楽 金川真弓（ヴァイオリン）&小菅優（ピアノ）デュオ・リサイタル	3月	芸術劇場 音楽ホール	新時代のヴァイオリニスト金川真弓と目覚ましい活躍を続けるピアニスト小菅優、いずれもヨーロッパを拠点に国際的に注目を集める2人によるデュオ公演を実施する。

イ 芸術実践・鑑賞層の拡大（28事業）

- ・次代の舞台芸術を担う人材の育成を図るため、若手ダンサーや演奏家、落語家等を起用した公演を実施するほか、演出家、振付家等による創作や発表の場を提供する。また、大学等と連携し、当劇場の職員が講師を務める講座等を実施する。
- ・芸術文化への関心を高め、裾野の拡大を図るため、良質で親しみやすい公演や県内学校と連携したアウトリーチ事業など、多様なニーズに配慮した事業を実施する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
その他 彩の国さいたま寄席 四季彩亭	4・7・10 ・3月	埼玉会館 小ホール	名人から若手まで実力と人気を兼ね備えた出演者を、芸術劇場独自の視点でラインナップする落語公演を実施する。公演当日の観客投票によって決定する「彩の国落語大賞」を贈呈し、若手落語家のステップアップの支援と落語文化の継承に努める。

事業名	実施予定時期	会場	内容
<p>舞踊</p> <p>コンドルズ埼玉公演 2023 新作『POP LIFE』</p>	5 月	埼玉会館 大ホール	コンドルズによる埼玉スペシャル公演の 16 回目。ダンス、映像、生演奏、人形劇、コントをちりばめ、空間を縦横無尽に使いこなすコンドルズならではの新作ステージ。
<p>演劇</p> <p>彩の国シェイクスピア講座番外編&彩の国シェイクスピア・シリーズ上映会</p>	6・11 月	埼玉会館 小ホール	第一線のシェイクスピア研究者を講師として招き、シェイクスピア作品の魅力掘り下げる。また、彩の国シェイクスピア・シリーズの映像アーカイブを活用し、上映会を実施する。
<p>演劇</p> <p>『めにみえない みにしたい』</p>	7 月	埼玉会館 大ホール・ 県内外	演劇集団マームとジプシーの主宰である演劇作家の藤田貴大が手掛ける親子で楽しめる演劇作品。芸術劇場のレパートリー作品として、2018 年の初演。埼玉会館を始めとする県内外で上演する。
<p>音楽</p> <p>埼玉会館ランチタイム・コンサート 第 57 回～第 60 回</p>	6・9・1・ 3 月	埼玉会館 大ホール	平日の昼に、トークを交えたショート・プログラムによる気軽なクラシック・コンサートを実施する。
<p>音楽</p> <p>大塚直哉レクチャー・コンサート in 埼玉会館</p>	7・2 月	埼玉会館 小ホール	平成 29 年度より芸術劇場音楽ホールで開催している「大塚直哉レクチャー・コンサート」を埼玉会館小ホールで実施。ポジティブ・オルガンとチェンバロ、クラヴィコードをステージに置き、J. S. バッハの音楽を中心に、楽器の紹介を含め、演奏と解説で構成する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
演劇 『カラフルパズル』	8月	白岡市・ 東松山市	国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわとともに、世界的に評価の高い子どものためのパフォーマンス作品『カラフルパズル』を共同招聘する。本作は乳児を主な対象とし、白岡市及び東松山市の文化施設と連携し、鑑賞者にとって身近な文化施設において上演する。
その他 舞台技術講座	8月	埼玉会館 大ホール	県内高校生及び公立文化施設職員等を対象とした音響・照明・道具等の舞台技術に関する講座・研修会を行う。講師は財団の技術スタッフが務める。
音楽 光の庭プロムナード ・コンサート	10・3 月	川越市・ 芸術劇場 情報プラ ザ	芸術劇場所有のポジティブ・オルガンを活用し、土曜日の午後に劇場内の情報プラザにおいて入場無料で開催してきたコンサート・シリーズ。川越市及びリニューアル後の劇場で実施する。
演劇 春陽狂言『万作・萬 斎の世界』	3月	埼玉会館 大ホール	人間国宝の野村万作とNHK「にほんごであそぼ」を始め映画、現代劇でも活躍する野村萬斎による狂言公演。伝統芸能初心者にも親しみやすいよう公演前に狂言講座を設ける。
舞踊 さいたまダンス・ ラボラトリ企画 Vol.7	3月	芸術劇場 大ホール 等	ヨーロッパで活躍するダンサーノエ・スーリエを講師に迎え、若手ダンサー・学生を対象とした集中的なワークショップを実施するとともに、ノエ・スーリエの作品『THE WAVES』を上演。同作品は国内の劇場を巡回予定。

事業名	実施予定時期	会場	内容
演劇 岩松了劇作塾	通年	芸術劇場 小ホール 等	劇作家・演出家の岩松了を講師に迎え、キャリア形成過程にある劇作家を対象とした実践的な劇作講座を行う。講座の最後には成果発表として、参加者が創作した戯曲の発表会をリーディング公演の形式で行う。
舞踊 MEET THE DANCE～アーティストが学校にやってくる！	通年	県内中学校	中学校の授業でダンスが必修化された中、プロの振付家、ダンサーによるダンス・ワークショップを県内中学校生徒を対象に実施する。
音楽 MEET THE MUSIC～アーティストが学校にやってくる！	通年	県内小中学校	県内の小・中学校にプロの演奏家を派遣し、単なる受け身にとどまらない、気づきや発見を伴うプログラムで、生演奏の鑑賞機会を提供する。令和5年度から、特別支援学校を対象に含め実施予定。
その他 芸術監督トークシリーズ	通年	埼玉会館 小ホール	ジャンル・クロスをかかげる近藤芸術監督が注目する多彩なジャンルのアーティストや専門家を招き対談を行う。
その他 大学への講師派遣	通年	埼玉大学・ 放送大学	劇場職員を講師として派遣し、芸術劇場の事業展開や運営など実例を取り上げた授業を実施する。
その他 大学生インターンシップ	通年	埼玉会館	将来の舞台芸術を担う人材の育成に資するため、県内及び首都圏の大学の学生を対象としたインターンシップを実施する。

ウ 社会課題の解決に貢献する芸術活動の推進（6事業）

- ・芸術文化を通して社会包摂の実現に貢献するため、子どもから大人まで、障がいの有無や国籍にかかわらず、多様な人々が芸術文化に参加できる公演等を実施する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
その他 バリアフリー・セミナー	1月	埼玉会館 ラウンジ	障がい者の劇場体験や芸術参加を支援するために必要とされる知識を共有し、方法論や改善策を議論するセミナーを開催する。
その他 埼玉回遊	通年	県内各地・ 芸術劇場 大ホール	開かれた劇場を推進する新しい取組として、県内各地にアーティストが出向き、地域に固有の特色ある文化や実践する人々を発掘・再発見し、それらの要素を取り入れて地域の人々とともに創作するパフォーマンスを実施する。
その他 新シアターグループ 設立準備	通年	県内各地	令和6年度の立ち上げを目指して、多世代かつ様々な属性の人々による表現活動グループ設立のための準備として、舞台活動経験の有無を問わず、若年層から高齢者まで、また障がい者や外国人など多様な人々を対象としたトライアル・ワークショップを県内各地で実施する。
舞踊 パーキンソン病患者 のためのダンス・プログラム	通年	オンライン	パーキンソン病患者のために開発されたダンス・プログラムのワークショップをスターダンサーズ・バレエ団との共働でオンライン配信により定期開催する。

(2) 企画展示・広報等

ア 企画展示事業

彩の国さいたま芸術劇場内の情報プラザ、ギャラリー等を活用した企画展示事業は、大規模改修工事期間中のため、今年度の実施は見送る。

イ 財団情報誌「埼玉アーツシアター通信」の発行

自主企画公演のチケット販売促進及び、公演の理解を深めるため、公演や活動内容に関する出演者インタビューや寄稿記事などで構成する情報誌を発行する。

(ア) 発行回数、部数 年4回 各10,000部発行

(イ) 配布先 財団メンバーズ、サポーター会員、マスコミ、プレイガイド、県内文化施設など

ウ メンバーズ事業

主催事業のチケットの優先予約や割引販売などを行うことにより、顧客の定着化と拡大、チケットの販売促進を図る。

会員数 4,157人(令和5年2月末現在)

エ サポーター会員の運営

財団の活動に対し支援いただく法人等の会員組織「サポーター会員」の運営を行うとともに、会員の拡大を図る。

サポーター会員数 118社(者)(令和5年2月末現在)

オ その他広報等

近隣施設への公演チラシの配架依頼、ホームページや各種SNSを用い積極的な情報発信を行い、幅広い層に彩の国さいたま芸術劇場及び埼玉会館等の活動をアピールする。

(3) 資料収集

演劇、舞踊、音楽、映画等の分野に係る書籍、CD、DVD等を収集するとともに、当財団自主企画事業の記録映像を含めた公演資料の適切なアーカイブ化を進める。

2 芸術文化活動の場の提供等に関する事業

芸術文化活動の拠点施設として、彩の国さいたま芸術劇場及び埼玉会館について、各施設の持つ機能を効果的に活用して施設貸与を実施する。

(1) 彩の国さいたま芸術劇場

施設の適正な管理を行うとともに、ホール、稽古場、練習室等が十分に活用されるよう利用者サービスの向上に努めるほか、施設の空き情報の提供などを行い、利用率の向上に努める。

また、ホームページを活用し、分かりやすく充実した利用案内や施設利用情報の提供、公演チラシ掲載による貸館公演の広報支援など、サービスの充実を図る。

(2) 埼玉会館

施設の適正な管理を行うとともに、ホール、会議室、展示室等が十分に活用されるように、ウェブ会議を確実に利用できる環境を整え、利用者サービスの向上に努める。

また、施設の活性化と利用促進のために大型催事の誘致を行うほか、施設の空き情報の提供、SNSによる情報発信等を行い、利用率の向上に努める。さらに、ホームページ、浦和のFMラジオ『REDS WAVE』での隔週の生放送及び、浦和の地域情報サイト『まいふれ浦和』に掲載して、分かりやすく充実した利用案内や施設利用情報の提供、貸館公演の広報支援など、サービスの充実を図る。

3 芸術文化に係る事業を推進するための付帯事業

芸術文化に係る事業を推進するために、次の付帯事業を実施する。

(1) 各種の活動及び発表の場の提供

埼玉会館において、芸術文化活動以外の講演会、講習会及びその他の催し物等について施設の貸与を行う。

(2) 駐車場及びレストランの運営

施設利用者の便宜を図るため、彩の国さいたま芸術劇場及び埼玉会館において有料駐車場を運営する。

また、各施設内のレストランを運営することで、利用者へのサービス向上や賑わい創出を図る。

(3) その他公益目的事業の推進に資する事業

施設利用者の便宜を図るため、彩の国さいたま芸術劇場及び埼玉会館において自動販売機及びタクシー電話を設置する。また、施設内及び敷地内において、ファッション誌の写真撮影やテレビドラマ・映画等の動画撮影を受け入れる。

(4) 埼玉会館のブランディング事業

全国に誇れる価値をもつ埼玉会館の歴史と建築を発信するため、ブランディング事業を行う。セミナーやボランティアによる建物ツアーの開催など前川國男氏が設計したモダニズム建築である埼玉会館の多彩な魅力、特徴を様々な角度から知ってもらうことで、ブランド化による更なるイメージと認知度のアップを図る。

(5) 賑わい創出と活性化のための共催・連携事業

彩の国さいたま芸術劇場では、地域の活性化を図るため、休館中も、さいたま市中央区、バラのまち中央区アートフェスタ実行委員会等の地域団体によるイベントに参加するなど、劇場と地域が連携したまちづくり活動に参画する。

埼玉会館では、美術と街巡り・浦和実行委員会や障がい者団体など高い芸術性や話題性のある事業を共催し、埼玉会館を拠点とした活動や発信の場を広げる。また、地域社会との連携により、町内会のお祭りへの協力、商店会と合同での「県庁通りイルミネーション」の設置、財団自主事業の観客に対し地元商店の協力を得て各種サービスの提供を行う。さらに、国や県が推進する啓発事業等と関連したライトアップの取組にも積極的に協力していく。